

令和元年

雲南市議会12月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和元年12月9日～12月11日】

令和元年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	12/9(月) 9時30分～	18／堀江 治之	一問一答	1～2	11	12/11(水) 9時30分～	9／佐藤 隆司	一問一答	19～21
2		19／小林 眞二	一問一答	2～4	12		10／藤原 政文	一問一答	21～23
3	12/9(月) 13時00分～	6／矢壁 正弘	一問一答	4～6	13	12/11(水) 13時00分～	4／中村 辰眞	一問一答	23～25
4		21／周藤 正志	一問一答	6～8	14		3／松林 孝之	一問一答	26～28
5		7／白築 俊幸	一問一答	8～10					
6	12/10(火) 9時30分～	8／細木 照子	一 括	10～11					
7		2／中林 孝	一 括	11～13					
8	12/10(火) 13時00分～	14／細田 実	一問一答	13～14					
9		1／上代 和美	一問一答	14～17					
10		5／原 祐二	一問一答	17～18					

令和元年雲南市議会 12 月定例会 一般質問通告一覧表

令和 1 年 12 月 4 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	18	堀 江 治 之 (一問一答)	1. 台風 19 号等による豪雨災害からの教訓について	<p>台風 15 号・19 号・21 号の強風・豪雨により多くの人命を失い、多くの堤防決壊により住宅の浸水、農林産物の流失等甚大な被害を受けた。この大災害から多くの教訓も得たが、今後この教訓から雲南市としての防災・減災に対する対応方針について伺う。</p> <p>(1) 地球温暖化対策について</p> <p>①年々自然災害は強力化・巨大化している。その一因は地球温暖化であるとの識者の意見もあるが、雲南市で現在取り組まれている環境基本計画等による地球温暖化対策は具体的にどのような取り組みがされているのか伺う。</p> <p>②地球温暖化対策の具体的取組みの推進状況と結果について伺う。</p> <p>(2) 豪雨災害による防災・減災対策について</p> <p>①市内の主だった河川（斐伊川・三刀屋川・赤川等）の洪水対策は十分なのか伺う。</p> <p>②宮城県丸森町では一帯が広範囲に浸水し機能不全に陥ったとのことであるが、雲南市役所はそのような危険性はないのか伺う。</p> <p>③平成 22 年 7 月 1 日付けダム第 39 号で島根県知事あてに提出された、斐伊川水系河川整備計画（案）（国管理区間）について回答された別紙内容の第 4 項の進行状況について伺う。</p> <p>（第 4 項一雲南市最大の市街地地域の内水対策については、国・県が連携して対策を行っていただきたい）</p> <p>④斐伊川水系河川整備計画の内、雲南市内の堤防強化対策工事の進行状況について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>⑤国管理河川に設置される危機管理型水位計を河川堤防の被災履歴のある箇所へ設置するよう国に要請は出来ないのか伺う。</p> <p>⑥台風 19 号でダム 6 か所が、事前の水位調節をせず、緊急放流がされたが、尾原ダムの対応マニュアルはどのようになっているのか伺う。</p> <p>⑦指定避難所では被災内容によっては利用できない施設もあり、予備の施設等を指定避難所としておく必要はないのか伺う。</p> <p>⑧浸水被害では膨大な量の災害ごみが発生しているが、ごみ集積場の考えについて伺う。</p>	
2	19	小 林 眞 二 (一問一答)	1. 災害対策について	<p>(1)10月12～13日に日本列島を直撃した台風19号は、東日本の広範囲にわたり大雨を降らせ、大きな爪痕を残した。災害についての所見及び教訓を問う。</p> <p>(2)雲南市は中山間地でしかも市内には、斐伊川・三刀屋川・赤川と大きな河川が存在している。それぞれに人口密集地の連担地があり、ひとたび起きた河川の氾濫は大きな被害が想像できる。今後、雲南市の土砂災害について対応策を問う。</p> <p>(3)加茂まちづくり協議会から、「加茂町加茂中連担地の水防対策について」建設部に陳情がされ、雲南県土事務所の回答が自治会で回覧された。平成16年に能力アップされたといえ、その時の基準では、大幅な差が生じている。再度、強力な要望が必要と思うが所見を問う。</p> <p>(4)特に加茂町連担地は、内水氾濫になりうる地形である。住民が安心安全で生活出来るよう市としての防災対策も望むが所見を問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 観光振興について</p> <p>3. 人的・経済的ダム効果について</p>	<p>(1) 雲南市への誘客は、成熟した先進地の観光地と、競争では厳しいと考えられる。特に、松江市と出雲市に挟まれた本市は、顕著と思われるがどのような戦略を考えているのか。</p> <p>(2) 新しくオープンした清嵐荘とビジネスホテルの大型宿泊施設が営業すると、市内の同業者に影響が出ると思われるが、施設整備支援、宿泊者の紹介など、対応策を考えているのか。</p> <p>(3) 雲南市は、多くの観光資源があると言われていたが、初めての観光客に一日一泊の遊行で満喫でき魅力あるスケジュールはどんな日程が組めるか問う。(1～2例)</p> <p>(4) 先日の議会報告会で出席者から、清嵐荘は団体での予約以外、個人が入浴に伴わせた食事が出来ないと説明を受けたとの苦言があった。地域づくりにおいても、住民サービス、福祉の面からも異議があるが、見解を問う。</p> <p>(5) 観光地と言えば、立派な由緒ある建物、歴史ある遺跡・史跡また景観など訪問先で魅了させてくれるが、市内の観光地における景観や、案内板・説明板などが整備点検されているのか問う。</p> <p>(1) 行政主導の「マルシェリーズ」また、中活事業による「コトリエット」は、当初の目的である人的・経済的ダム効果を果たしているのか、評価を具体的に問う。</p> <p>(2) 民間による「トライアル」の進出は「マルマン」に影響はあるのか問う。</p> <p>(3) 子会社化された「マルマン」での営業の継続部分に係る契約について問う。</p> <p>(4) 同じ行政主導で「食の幸発信推進事業」は販売拠点・交流拠点</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				の核となり得るのか、改めて決意を問う。	
3	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 防災対策について	<p>(1)避難対応について</p> <p>①国土強靱化に関する基本目標として、第一番に人命の保護が最大限図られることとある。避難方法について、警戒レベル1～5において速やかな立ち退き・屋内安全確保など明確な判断基準があるのか伺う。</p> <p>②避難勧告・指示共に住民に求める状況として、速やかな立ち退き避難と屋内安全確保がある。最終的にはどちらも個人の判断なのか伺う。</p> <p>③避難所への備品整備について、指定避難所については随時検討されるようだが、一時避難所についても必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(2)大型化する台風等自然災害の対応について</p> <p>①尾原ダムの放流について、国交省直轄のダムだが洪水調整のための事前放流や緊急放流の判断は国がするのか。また、県や本市に対し協議があるのか伺う。</p> <p>②塩田ダムは総貯水容量 310,000 m³の灌漑用水専用（利水）ダムだが、「ダムに関する特則」として洪水防止のための措置が事業者に求められている。緊急放流等行う際の周知マニュアルの作成など必要な措置が取られているのか伺う。</p> <p>③平成 30 年 7 月豪雨で被害が多かったため池の調査の状況は、また今後の対応を伺う。</p> <p>④台風 15・19 号では河川の氾濫や暴風により停電・断水等インフラにも甚大な被害が出た。本市としての停電、断水等への対策を伺</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 農業対策について</p> <p>3. 育児休業について</p>	<p>う。</p> <p>⑤本市として防災計画の見直しなど、予想を超えた自然災害への対応を検討すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 農機具による事故対策について</p> <p>①近年、市内において農業機械、農機具等による事故が多いように思われる。今一度安全講習や告知が必要と思うが見解を伺う。</p> <p>②各自主組織で独自にチェンソーや刈払機等の講習を開催されているところがある。講師料の一部支援等を考えてはと思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 農業について</p> <p>①圃場整備完了後、ぬかるみがひどくなり耕作ができない状態の圃場があると聞いた。公の資金で整備された後は一定期間、公の資金は投入されないと聞いているが対応はないのか伺う。</p> <p>②圃場乾田化に有効な用排水施設が整備できる土地改良事業の拡充が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 鳥獣被害対策について</p> <p>①昨年の暖冬の影響でイノシシの頭数が増え被害が倍増している。狩猟期にも捕獲報償金を出すなど対策が必要では。</p> <p>②狩猟免許取得に係る初期投資や維持経費が多額なため、取得を見合わず方がいると聞いた。支援の拡充は考えられないか伺う。</p> <p>(1) 育児休業取得について</p> <p>①平成 25 年 12 月定例会で質問を行った際の答弁は、他の職員の理解のもと育児休業を取りやすい職場環境づくりが必要とのことだった。6 年が経過したが環境づくりはできたのか、また男性職員の取</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 交通安全対策について	<p>得は増えたのか伺う。</p> <p>②民間企業では、男性が取得後職場復帰した際に待遇が悪くなったとの事例があるようだ。女性へのマタハラも多くあると聞いた。本市においては無いと思われるが実状を伺う。</p> <p>③子育て世代の女性との対話の機会（産前産後ケアハグ）があり参加した。妊娠中から子育てに至るまで男性（夫）の協力は必要不可欠であり、一番大切なものであるとの意見を多く聞いた。市内企業に支援を行ってでも男性の育児休業取得促進に取り組む必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(1)交通安全対策について</p> <p>①内閣府と厚生労働省は保育施設園児の安全を確保するための「キッズゾーン」の設定の推進について、都道府県などに通知を発出している。本市としての対応は。</p> <p>②信号の無い横断歩道についての停車率が全国平均で17.1%と低い。本市内でもこの光景をよく見かける。ドライバーに対し啓発等必要と感じるが見解を伺う。また、路面標示の再施工も必要と思われるが見解を伺う。</p>	
4	21	周 藤 正 志 (一問一答)	1. 雲南市 15 年の歩みとこれからの歩みについて	<p>15年の歩みを振り返り、特筆すべき4項目について、現状を踏まえシビアに未来を創造していく</p> <p>(1)想定を超えた人口減少</p> <p>36,500人の目標に拘泥することなく、人口減少に伴うマイナス面を見きわめ、市民生活に影響が出ないよう備えていくことこそが求められているのではないか。</p> <p>(2)財政の健全化</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 第2期総合戦略について</p> <p>3. 第2期子ども・子育て支援事業計画について</p> <p>4. 安心安全なまちづくりについて</p> <p>5. 活力と賑わいの</p>	<p>今後、交付税一本算定等の影響により財政規模が縮小し、投資的経費に充てることができない厳しい財政運営を強いられることになる。健全財政は至上命令であり、どう対応していくのか。</p> <p>(3)地域自主組織の定着と進展 地域自主組織が持続可能であるためには、これ以上負担を大きくすることなく、人的・財政的支援の充実を図っていかなければならないがどうか。</p> <p>(4)キャリア教育をはじめとする人づくり 定住促進には子育て支援だけでなく、教育の充実も一体として不可欠だ。キャリア教育を他にない特色のある秀でた教育として、さらに充実強化していかなければならないのではないか。</p> <p>定住基盤の整備は、他市町に比してさまざまな施策を展開しているが、結果が出ていない。市内外の子育て世代へのPRが不足しているのではないか。</p> <p>子育てしやすい社会のため必要と思う支援策は何かとの保護者ニーズ調査によると「安定した雇用・収入を確保する」「公園など子どもの遊び場を確保する」「勤務時間の短縮や育児休業の取得促進など職場環境の改善を企業に働きかける」が上位にあった。</p> <p>(1)就労環境の改善について、どのような対策を講じるか。 (2)遊び場の確保について、どう考えているか。</p> <p>台風19号では中小河川による内水氾濫やバックウォーターによる浸水被害が多数発生した。雲南市のハザードマップはそれらが想定されているか。</p> <p>(1)神原企業団地が間もなく完成する。誘致の取り組み状況はどう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>あるまちづくりについて</p> <p>6. 健康長寿・生涯現役のまちづくりについて</p> <p>7. 松江シティFCからの要請によるサッカー場整備について</p> <p>8. 木質チップボイラーの燃料灰の処理について</p>	<p>か。なければ地元企業も考えなければならないが、既存企業・事業所への支援策は十分か。</p> <p>(2) 清嵐荘がオープンしたが、ヤマタノオロチをモチーフにしたお土産は1点だけだった。ここにしかないものを生かした質の高いお土産やグッズが必要ではないか。</p> <p>(1) 「歩き方が老化の総合的指標」といわれているが、身体教育医学研究所うんなんの研究成果がどう健康づくりの施策・事業に活かされているか。</p> <p>(2) 市の健康増進施設（トレーニングルームなど）を利用される65歳以上の方も多いが、利用料について高齢者割引等の整合性がとれているか。</p> <p>松江シティFCの経営基盤や現在のJFLでの成績、多額の整備費用等を総合的に勘案すると、様子をみながら慎重に判断すべきではないか。</p> <p>環境基準を超える物質が検出されたが、再生可能エネルギー推進に支障が出ないよう原因究明を徹底し、対策を講じていく必要があるのではないか。</p>	
5	7	白 築 俊 幸 (一問一答)	1. 観光振興について	<p>(1) 観光客の誘客に当たって、一見客とリピーターそれぞれに対する戦略はあるのか。</p> <p>(2) 本市への観光入り込み客の内、どれくらいがリピーターと考えているか。</p> <p>(3) もう一度行ってみたいと思わせる観光地の魅力は何か。また、本市の観光資源の現状からリピーター確保はどういうことが考えら</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 棚田地域振興法 について	<p>れるのか。</p> <p>(4)数年前、日本版DMOという話があったが、どういうものか。その対応は今どうなっているか。</p> <p>(5)本市における産業観光やグリーンツーリズムの現状はどうなっているか。</p> <p>(6)鉄の道文化圏等の広域観光計画はうまく機能しているか。</p> <p>(7)観光振興もプロモーションだけでなく、マーケットインの考え方が必要であり、観光振興計画でもマーケティングという言葉がなっていない。具体的にどの様なことが行われているのか。</p> <p>(8)「おもてなし」は、東京オリンピックの招致以来、脚光を浴びているが、その心は単なる固定した接待のパッケージやマニュアルではなく、顧客満足度であると思うが見解は。</p> <p>(9)今後の観光振興にとって、そうした気持ちを市民全体が保有することが必要だと思うがどうか。</p> <p>(10)たたら村は、去年は「たたら収穫祭」が行われたが、今年は何もなかった。今後、この施設はどうするのか。</p> <p>(11)本市の観光のビジョンと戦略を改めて問う。</p> <p>(1)地方創生の一環として、超党派の議員立法で成立し、本年8月16日に施行され内閣府が主管するこの法律の趣旨は何か。</p> <p>(2)今後の推進スケジュールはどうなっているか。</p> <p>(3)対象地は「勾配 1/20 以上の一団の棚田で 1 ha以上」とされているが、中山間地域等直接支払事業のデータから、これに該当する地域がいくらあるか把握できるか。</p> <p>(4)1 ha以上の田んぼだけが事業対象地域では土地改良事業しか対</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>応出来ないが、その地域を含む生活環境あるいは地域振興等の事業も実施できるのか。</p> <p>(5)この法律は、令和7年3月31日で効力を失う時限立法であるが、本法に対する今後の市の対応の考え方を問う。</p>	
6	8	細木照子 (一括)	<p>1. 地球温暖化対策の取り組みについて</p> <p>2. 巨大台風等大雨対策について</p> <p>3. 2018年度の全国小中高校等のいじめについて</p> <p>4. 高齢化社会への</p>	<p>(1)今年も、猛暑や局地的豪雨、超大型台風と過去に経験のない厳しいものがあった。これは地球温暖化が着実に進んでいることを表している。そして益々厳しくなるであろう子孫の時代が大変心配になる。国際的な対応も、何となくモタモタ感がある。私たち国民1人1人が今すぐに、たとえ小さな力でも合わせて、再生可能エネルギー等の出来ることから少しでも地球温暖化防止に立ち上がっていかないといけない。その具体的な指導を1日も早く行ってもらうことが大変に重要である。国、県、市の具体的な指導はどの様になっているか伺う。</p> <p>(1)今年の台風19号の記録的な大雨は、全国の140以上の河川で氾濫を起こした。この様に甚大な被害をもたらす巨大台風は今後も恒常的に襲来する恐れがあり、専門家は「堤防神話」からの脱却を訴えている。市内でも、堤防に守られた地域がいろいろとある。具体的な対応策が急務でないか考えを伺う。</p> <p>(1)2018年度のいじめは、前年度より13万件近くも増えて、過去最多の543,933件に上った。あつてはならないことが、どうしてこんなにも増え続けるのか。文部科学省は、いじめそのものの純増ではなく、「積極的な認知」の結果だと捉えている。市内の「いじめ」の状況はどの様になっているのか伺う。</p> <p>(1)去年の3月議会でもこの内容の質問をして、対応方答弁をいた</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			行政対応について 5. 路面標示の実態 について 6. 交差点等の道路 照明について 7. 人と環境に優し い商品を選ぶ「エ シカル消費」の推 進について	<p>だいた。しかし、依然として高齢者には分かりにくい行政等、社会対応である。人間誰しも高齢になると、視力、聴力、運動神経等が大なり小なり衰える。この必然へ対する社会対応について、今一度、市の見解を伺う。</p> <p>(1) 今年の6月議会でも、この問題を取り上げている。しかし、道路の実態は余りにも危険で再度質問をせざるを得ない。極端な例として、県道か市道か分からないが、出雲大東駅前の交差点である。中央線はもちろんのこと、右折車線、停止線、横断歩道標示さえ4カ月間くらい薄れるのでなく完全に消えていた。この様に危険な状態を放置される事情は何か。県道なら県の方へ再演防止方厳しく伝えてほしい。</p> <p>(1) 平成29年12月議会でも触れているが、道路照明施設設置基準の道路照明が余りにも暗く、見えにくくて危険である。特に交差点での右折車は、右手の横断歩道の歩行者は自分の車の正面向きライトでは見えない。危険極まりない現状認識について、市の判断を伺う。</p> <p>(1) エシカル消費は、1人1人の配慮した買い物が世界に影響を与え問題解決につながるというもののようだ。市として推進する考えはないか伺う。</p>	
7	2	中 林 孝 (一 括)	1. 災害対策につい て	<p>(1) 来年度整備予定の防災無線システムの目的と効果について伺う。稼働前の周知等は十分か。また、災害時において行政から市民への情報伝達だけで十分といえるか。</p> <p>(2) 今秋の台風15号では千葉県内が大きな被害を受け市民生活に大</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 農林畜産業の振興について	<p>きな支障が生じた。本市が同様な災害に見舞われた際、十分な対応ができるか。</p> <p>(3) 台風襲来時に避難所へ避難する途中、亡くなられた方が多かった。避難指示は強制か。避難所は適切か。</p> <p>(4) 市内河川の多くで河川敷に竹等が繁茂している。被害を最小限にとどめるために（国・県・市管理全般の問題として）早急に伐採等が必要と考えるが所見を伺う。</p> <p>(5) 河川の増水時における排水ポンプの能力は十分か。また、排水ポンプのない地域での増水時の対策は十分と言えるか。</p> <p>(6) 台風被害を受けた自治体の多くでは正規職員が足りず住民に対し十分な災害対応ができなかったとの報道があった。万一の場合、本市の対応は大丈夫と言えるか。</p> <p>(7) 11月に行われた原子力防災訓練を終えて成果と課題の総括について伺う。これを踏まえ、本市として今後重点的に取り組んでいかなければならないことは何か。</p> <p>(1) 林業は産業と言えるか。成長産業化できるか。成長産業とするためにはどうするか。</p> <p>(2) 本市における森林の主な所有者は誰か。所有者の経営や管理体制は十分か。</p> <p>(3) 新たな森林管理システムでは市の役割が重要とされている。本市の林業は今後どうあるべきか、どのようにしていく考えか、また、それに向けてどのような対策を講じていくか。</p> <p>(4) 森林関係者とも協議を進めるべきと考えるがどのように進めていく考えか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>(5)新たな森林管理システムで定義された「林業経営可能な森林」および「林業経営に適さない森林」は本市にどれくらいあるか。これらをどう管理していく方針か。</p> <p>(6)森林環境譲与税の用途及び配分方針について伺う。</p> <p>(7)畜産業の活性化にむけ対策が必要と考えるが本市の今後の基本的な方針を伺う。</p> <p>(8)イノシシなど有害鳥獣の被害が絶えない。本市がこれまでに行ってきた取組や対策が有効だったかどうか伺う。</p> <p>(9)前項を踏まえ今後の有害鳥獣対策の進め方について伺う。</p>	
8	14	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 原子力発電について</p> <p>2. 第2次雲南市総合計画後期基本計画推進と子育て支援について</p> <p>3. スポーツ振興について</p>	<p>(1)原子力防災訓練の成果と課題について 原発特別委員会で青森県六ヶ所村の核燃料施設を視察して改めて膨大な施設、費用の必要性と核物質の取り扱いの困難さを感じた。島根原発事故を想定しての訓練が行われたが、今回の訓練の成果と課題について伺う。実効性ある避難計画の確立は課題があると思うがどうか。</p> <p>(1)人口の社会増、子育て世代に住みよい、住み続けたい対策、そのためには女性が住みやすい政策と説明されているが、女性政策推進課を設置し、取り組む必要があるのではないか。</p> <p>(2)地域で子どもを育てるには、認定こども園の充実など（給食施設整備など）行うべきではないか。</p> <p>(1)スポーツ推進計画がつくられているが、体協補助金が据え置かれているなど、体育協会との連携、指導者育成などに課題があるのではないか。スポーツ推進計画における成果と今後の課題について伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 農業人材の育成 について	(1)医療問題の勉強会で、これから人口が減る時代において、医療人材も小学校、中学校から関心を持ってもらう取り組みが必要で実践しているとの話を聞く。農業にも同じ視点が必要と思うが伺う。	
9	1	上代和美 (一問一答)	1. 消費税増税につ いて 2. 教育問題につい て	(1)9月議会で、私は消費税10%への増税問題について市長の政治姿勢を質問した。市長は「国民負担率の観点からも、今回の10%への増税は時宜を得たもの」と答弁された。 ①時宜を得たと言うが、8%で落ち込んだ後、景気はずっと横ばいになっており、世界でも日本だけが経済成長から取り残された状態になっている。消費税は、「社会保障のため」といいながら、導入時からそのほとんどが大企業と富裕層の減税に使われてきた。経済の6割近くを支えている家計への負担増が、日本経済への打撃となっている。市長は、今でも、時宜を得た政策と考えているか。 ②「国民負担率の観点」と言われるが、問題の核心は、誰が負担するかではないのか。消費税の税収はすでに法人税の税収を上回っており、国の最大税収となろうとしている。憲法に基づく課税の応能負担の原則を守って、大企業、富裕層への応分の負担を国に求めるべきだ。庶民から吸い上げる消費税は減税し、5%に戻すべきだと考えるが、市長の見解を伺う。 (1)県提案の少人数学級編成見直しについて ①島根県の最上位計画である「島根創生計画」(2020～2024年度)の最終案が県議会に示された。事務事業の見直しの中で、国基準をこえる全国でもトップレベルの少人数学級編成を見直すとの提案があった。これに対し、市長は定例会見で、「島根方式として少人数による緻密な教育が行われてきた。継続してほしい」と見解を述べ	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 高齢者、障がい者にやさしいまちづくりについて	<p>られた。改めて見解を確認するとともに、教育長の見解を伺う。</p> <p>②教員の多忙化が社会的な大問題になっているときに、財政的観点からの見直しは教育行政の後退であり、少人数学級を求める教職員、保護者、ひいては子供たちの願いの逆行になる。現場の声をしっかり聞いて基準見直しの撤回を求めるべきである。見解を伺う。</p> <p>(2) 公立教員給与特別措置法（給特法）改正について</p> <p>①公立学校の教員に「1年単位の変形労働時間制」を導入するための給特法の改定案が今臨時国会に提出され、衆議院で可決された。政府は教職員の働き方改革につなげるとしているが、導入されれば、「繁忙期」に1日10時間労働まで可能とし、「閑散期」とあわせ平均で1日あたり8時間に収める制度で、労働時間法制の改悪になる。この制度についての教育長の見解を伺う。</p> <p>②もともと、市における教職員1人あたりの月別平均時間外労働時間は2019年度1学期で常時約45時間となっており、変形制導入の前提などない状況である。現実として働き方改革にならない制度である。国会での論議中だが、導入に必要な条例改正はすべきではない。見解を伺う。</p> <p>(1) 公共施設の障がい者等用駐車場設置について</p> <p>障がいのある市民から、公共施設に障がい者等用駐車場がなくて困っているとの要望があった。「障害者差別解消法」では「合理的配慮の提供」が行政機関に求められている。「合理的配慮の提供」は障がいのある方から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合には、負担になり過ぎない範囲内で社会的障壁を取り除くために必要で合理的な配慮を行うことを求めるものである。駐車場配置すべき</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>4. 令和2年度当初 予算編成方針につ いて</p> <p>5. 災害対策につい て</p>	<p>と考えるがどうか。</p> <p>(2) 高齢者の自動車事故防止について 近年、高齢ドライバーのブレーキ、アクセル踏み間違いによる痛ましい事故が増加している。回避不能の事故ばかりである。一方、高齢者にとっては、交通手段としてどうしても車を使用しなければならないという現実もある。報道によれば、高齢ドライバーの事故防止踏み間違い防止装置に対する国の費用補助が新たな経済対策の中で検討されている。本市でも取り組む必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(1) 11月26日開催の議会全員協議会で、令和2年度の普通交付税2億円程度減額を見込んでいる。歳入減に伴う一般財源不足に対応していくために、「約72億円の枠対象軽費に対して5%のマイナスシーリングを設定し、約2億円削減の事業見直しをする」との説明を受けた。具体的にどのような事業の見直しが検討されているのか伺う。</p> <p>(2) 2億円は市民に大きな影響を及ぼす。検討事業については現時点での協議内容を議会に明らかにすべきである。</p> <p>(1) 避難所について ① 近年いつ、どこで、どんな災害がおこるのか、どこでも起こる可能性があり、市民の災害に対する関心が高まっている。指定避難所が決められているが、災害の種類によってもさまざまなケースが起こってくる。数や場所など実態にあっているか。 ② さまざまな災害が想定されるが、避難のシミュレーションはされているのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>③福祉避難所に指定されている事業所にはきちんと説明がされていて、いざというときの対象者はどのように誘導するのか明らかにされているのか。</p> <p>(2)要支援者名簿について</p> <p>①要支援者名簿の更新時に、自主組織や各自治会の担当者が変わると分からなくなってしまうが、市はどのような指導をしているのか。</p> <p>②要支援者名簿が実際に役立つように機能するシステムは構築されているのか。</p> <p>(3)防災備蓄品について</p> <p>①近年県内で被災した自治体の経験は重要である。トイレに着目してみると、浜田市が簡易トイレ5,608、美郷町が3,850、緊急トイレ用凝固剤が大田市で3,600、江津市で20,000、津和野町で11,400、美郷町で3,800となっている。雲南市はポータブルトイレが各総合センターに3台ずつで18台である。被災自治体の経験も踏まえ、いつ見舞われるか分からない災害に備えるべきではないのか。</p> <p>②防災備蓄品について広域連合との協力連携はできないのか。</p>	
10	5	原 祐 二 (一問一答)	1.子育て支援（未就学児）について	<p>(1)第1期子ども・子育て支援事業計画における、子育て支援施設（未就学児）の見込量と実績値の大きな差（理由・算定方法）について問う。</p> <p>(2)保育所及び認定こども園（保育所利用）への入所希望（第一希望への入所率）は満たされているかを問う。</p> <p>(3)居住地（町）施設への入所可能率と入所可能率の低い居住地</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 地域維持特措法 について	<p>(町) の要因について問う。</p> <p>(4) 教育・保育提供区域設定における設定単位（小学校区、中学校区、合併前の市町村、全市）による長所・短所を問う。</p> <p>(5) 小1プロブレム（ギャップ）の対応として、居住地（町）施設での利用（入所）調整が必要ではないかを問う。</p> <p>(6) 第2期子ども・子育て支援事業計画（案）では、子育て支援施設（幼稚園・認定こども園・保育所）の見込み量（定員）の確保は、新木次こども園の定数改正によるとされている。居住地（町）施設への入所可能率が低い町での定員改正について問う。</p> <p>(7) 第2期子ども・子育て支援事業計画（案）では、時間外保育事業へのニーズは、新木次こども園の開園及び斐伊保育所ほかの業務委託開始により対応するとしている。幼稚園、認定こども園の預かり保育（12日/月）の緩和について問う。</p> <p>(8) 障がいのある幼児のための職員確保と専門医確保、保護者支援への対応を問う。</p> <p>(9) 0～2歳児（住民税の課税世帯）を対象とした、保育の費用軽減に向けた無償化（保育料・副食費）の現状と今後の対応について問う。</p> <p>(10) 未就学児の子育て支援施設及び事業への市長及び教育長の決意を問う。</p> <p>(1) 地域維持特措法における、特定地域づくり事業協同組合の設置（母体のエリア）について問う。</p> <p>(2) 想定している具体的な事業と本市の取り組み姿勢について問う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
11	9	佐藤 隆 司 (一問一答)	1. 雲南市のさくらの町づくりについて 2. 第4次教育基本計画について	<p>(1)8月17日の産業建設常任委員会で、「市さくらの会に対して、市として介入していくべき」との答弁であった。その後の市当局の対応について伺う。</p> <p>①市としてさくらの会の正常化にどのように対応されているのか。</p> <p>②さくらの会の監査が実施されたのか。</p> <p>③さくらシンポジウムへ理事の参加が4回か5回かあいまいな答弁がされていたが、その後調査の結果はどうであったのか。</p> <p>(2)平成2年3月3日(1990年)に「斐伊川堤防桜並木」が日本さくら名所百選に認定されてから2020年は30周年を迎える。</p> <p>①この節目にどのような企画・対応を考えておられるのか。</p> <p>②市内に多くある桜の名所をどのように活かした町づくりの推進を図られるのか。</p> <p>③全国さくらサミットに対する市の考え方を伺う。</p> <p>(1)学校適正規模・適正配置基本計画は、平成22年度に策定され、平成22年度から平成31年度までの10年間の計画となっている。一方、第3次教育基本計画は平成31年度までの5カ年計画であり、次期「第4次教育基本計画の策定にあわせて検討する必要がある」と答弁されている。</p> <p>①学校の適正規模・適正配置について、どのように評価し、検証されているのか。</p> <p>②学校適正規模・適正配置基本計画の策定状況が示されないがどのような状況か。</p> <p>③小学校の複式学級解消と教育魅力化についてどのような考え方で取り組まれるのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 体育館の現状の 認識について	<p>④平成 30 年度から検討されている義務教育学校の検討状況と今後の方針は教育基本計画に示されるのか。</p> <p>⑤加茂中学校の校舎は昭和 43 年（1968 年）竣工で、すでに築 51 年経過している。建て替えを考えると、計画、設計、建設、竣工まで最低でも 3 年はかかると推測するのでこれ以上先延ばしはできないと考える。また、加茂小学校の校舎は昭和 47 年（1972 年）竣工で、すでに築 47 年経過しており、小学校も建て替えの時期は迫っており、建設時期が集中すると考えるがどのような検討がされているのか。</p> <p>⑥学校魅力化で高校生のサッカー練習場整備が突然出され積極的な対応がされているが、小中学校の教育施設の今後の整備計画を示し、限られた教育予算の中で小中学校の教育環境の魅力化も含め優先度の判断が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>(1)大東体育文化センターは昭和 40 年（1965 年：築 54 年）建設、木次体育館は昭和 42 年（1967 年：築 52 年）建設、掛合体育館は昭和 49 年（1974 年：築 45 年）建設されており、建設後 50 年にも及ぶ施設となっており、こうした現状にある施設は突然使用禁止となることを危惧し、仮にそうなった場合は利用者や団体等は困惑されると想像する。</p> <p>①平成 29 年度スポーツ庁委託事業で市内スポーツ施設の体育館の個別施設調査がされたが、その調査結果を伺う。</p> <p>②市長、教育長は体育館の現状を視察や現場の意見を聞くことをされているのか。</p> <p>③老朽化施設であり、早急な整備計画を示す時期ではないか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>④体育施設のスポーツの必需品であるボールやネット、床ワックスなど利用者への意欲促進につながる備品の更新や維持整備はされているのか。</p> <p>⑤新しい公の施設の建設や計画が多額の費用で取り組まれ、既存施設や身近な親しまれる施設の老朽化に対する対応が後回しにされている現状は、多くの市民の皆さんに不満と諦めを助長しているのではないか。</p>	
12	10	藤原政文 (一問一答)	<p>1. 「特定地域づくり事業協同組合」を活用したまちづくりについて</p> <p>2. 農業振興について</p>	<p>「特定地域づくり事業推進法」が成立した。</p> <p>(1)本市において、「特定地域づくり事業協同組合」をどのように展開していくのか。</p> <p>(2)「特定地域づくり事業協同組合」を構成する諸団体との協議状況と設立の時期など想定されるスケジュールは。</p> <p>(3)例えば、木次線活性化を目的に、駅舎内での活動を含め、市内各団体と一体となって活動するための専門コーディネーターの配置は対象になるのか。</p> <p>(1)次期中山間地域等直接支払制度の意向調査があった。結果をどのように受け止めているか。</p> <p>(2)大型圃場整備「農業競争力強化基盤整備事業 農地整備事業（経営体育成型・中山間地域型）」に対する期待が大きい。「最後のチャンス」との声もある。本事業について、現在要望のある地区の見通しはどうか。</p> <p>(3)現在要望している地区は、事業採択されても、整備完了までは相当の年数を要する。意欲がありながらも一年一年の維持が大きいのかかる。一日も早い事業採択に向け国県への働きかけを求め</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校教育について	<p>る。併せて、このような意欲のある地区に対して、農業機械を市で用意し耕作者へ低料金でリースするなど、特別な支援を期待する声がある。見解を伺う。</p> <p>今年度の教育フェスタは、興味深い講演会、トークセッションだった。</p> <p>(1) 講師の工藤校長の学校改革は、「学校は何のためにあるのか」、「学校教育の本当の目的」、「自ら考え、自ら判断し、自ら行動する資質、“自律”（自分をコントロールする）の必要性」、「迷ったら最上位目的に戻る」など興味深かった。「自立した社会性のある大人をめざす」本市だが、工藤校長の講演の狙いはどこにあったのか。</p> <p>(2) 「確かな学力」の考え方を伺う。「試験力（テストで高得点を得ること）」か「社会で生きていくための力」か。「宿題廃止」と「学力向上」がすぐには結び付かない。見解を伺う。</p> <p>(3) 工藤校長のチャレンジは、強いリーダーシップはあったと思うが、決してトップダウンではなく、生徒ファーストを基本に、生徒、教職員、保護者、地域・企業との話し合いの積み重ねがあつての学校改革であつたと思う。そのためにも「変化の激しい社会を生き抜くためにこれからの子どもたちに求められる力」を育むために「何が必要で、どうするのか」などの情報を保護者はもちろん地域全体へ発信し、共有することが必要だ。見解を伺う。</p> <p>(4) 先日開催された「全日本工学研究協議会 全国大会 島根大会」の評価と課題を伺う。</p> <p>(5) 先日開催された経済産業省の「未来の教室キャラバン」で「未来の教室」を体験した。ICTやAI教材を使った新しい学びに対</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>する考え方及び導入の可能性、導入時期はどうか。</p>	
13	4	中 村 辰 眞 (一問一答)	<p>1. 防犯カメラについて</p> <p>2. 防災対応等について</p>	<p>9月に木次町内の市営住宅において、不審者による窓ガラス損壊事案が発生した。若い世帯が多い住宅であり、子供たちに恐怖感を与え夕方以降外出できない状況にある。現在も不審者は出没しているとの訴えがある。</p> <p>(1)住人からは防犯カメラの設置を望む声がある。本市における防犯カメラ設置の現状は、寄贈を受けたものを、通学路を中心とし優先順位をつけ設置していると認識している。映像によるプライバシー及び個人情報保護に対して決まりを作り、市民の安全安心確保のため、市単独で設置する考えはないか伺う。</p> <p>(2)自治会などで防犯カメラを設置する場合に対し、補助制度を確立できないか見解を伺う。</p> <p>昨年の西日本豪雨、本年の19号をはじめとする複数回襲った台風と秋雨前線による豪雨。近年大きな災害を経験していない本市にとって、被災地からの情報をどのように受け止め今後備えるのが大切である。</p> <p>(1)被災自治体が作成したハザードマップが実際の浸水区域とほぼ一致し、精度が上がっているとの報道があった。</p> <p>①本市のハザードマップ上の浸水区域内には指定避難所が存在している。水害に対する避難所の見直しをする必要があると考える。ハザードマップの更新時に合わせて見直せないか見解を伺う。</p> <p>②自主的に避難をしようとした時に指定避難所が開いていなかったことがあったと聞く。避難行動の中には初動から指定避難所へ向かう事もある。開設の判断と住民の避難行動の間にタイムラグが存在</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. WEST EXPRESS 銀河運行とトロッ コ列車について	<p>してはならない。指定避難所開設は誰がどのような基準のもとに決定するのか伺う。</p> <p>(2)雲南警察署は、災害で警察活動が困難になった場合、庁舎機能をホシザキ島根工場に移転するとの発表があった。</p> <p>①本市庁舎は当初から浸水区域であり、そのために発電機能等は階上へ設置されているが浸水すれば様々な面での不都合が生じる。浸水時の本庁機能移転についての見解を伺う。</p> <p>②本庁舎浸水時に庁舎から出る事が不可能になることが想定される。回避するには救助用のゴムボートが有効と考える。庁舎内に装備する必要があると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3)今年の災害では鉄塔や電柱が倒れ、電波系通信機器が使用できない状況が多くみられた。孤立した地域の確認にも影響が出ていた。</p> <p>①本市には災害時に活用する衛星電話が配備されている。配備後の経年を考えると若干の不安を感じる。現実に運用できるのか現状を伺う。</p> <p>②本市が整備に取り組んでいる防災ラジオは衛星を利用するため、情報伝達の面では安心感がある。ただし単方向の通信であるため、孤立地域の情報収集には役立たない。双方向通信のできるものとして無線がある。活用についての考えを伺う。</p> <p>(1)WEST EXPRESS 銀河について</p> <p>①11月20日にJR西日本が夜行特急列車「WEST EXPRESS 銀河」を来年5月8日から運行すると発表した。これまで「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」「あめつち」を木次線活性化に対しいかに絡ませる</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>かなどを質問してきた。今回の夜行特急列車「WEST EXPRESS 銀河」は、「サンライズ出雲」とのコンビネーションに期待されている。週2回往復の運航ではあるが木次線や本市に対する期待をどのように考えるか伺う。</p> <p>(2) トロッコ列車について</p> <p>①平成26年3月定例会一般質問時に、トロッコ列車現車両の延命について、平成28年に全般検査を受け最長平成31年までとJR西日本から報告を受けているとの答弁があった。今年が期限となるが今後の見通しについて伺う。</p> <p>②以前より後継車両については新造との声が聞かれていた。新造にかかる経費についてもおおよその金額を聞いた事もある。大井川鐵道では古い車両を改修して使用している。新造に比べ経費を安く抑えることができるためであった。「WEST EXPRESS 銀河」や「あめつち」も古い車両をリニューアルして使用される。沿線自治体の負担を考えると新造よりもリニューアル車両を考えの軸においてはどうかと考えるが見解を伺う。</p> <p>③現在日本各地にたくさんのトロッコ列車が運行されている中であって、「トロッコ列車奥出雲オロチ号」はかなりレアな要素がある。始発終着駅ともに幹線に接続していない。このことから「日本一乗車の難しいトロッコ列車」と言われている。出雲市始発のような特別な場合を除く通常運行時に県外から乗車をするには一泊しなければならない。清嵐荘の「日本一新しい国民宿舎」に泊まり「日本一乗車の難しいトロッコ列車」に乗るといった企画ができないか見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
14	3	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 子どもを取り巻く環境について	<p>子ども達を取り巻く社会環境は激変し、地域との関わり方と教育現場の対応は、これまでの常識では測れない時代となっている。</p> <p>(1) インターネットとの関わり方について</p> <p>① 市内小中学生のスマートフォンの所持率は把握できているか。</p> <p>② SNS等によるトラブル(いじめ・誘惑等)は把握できているか。</p> <p>③ 教員・学校内だけでの情報収集には限界があり、親の注意力こそ重要である。親教育の場を設けてはどうか。</p> <p>(2) 地域との関わり方について</p> <p>① 不審者情報等の発信は、子どもの安心安全の周知には重要である。一方で「不審者」と間違われるとの観点から、地域における「大人からの声がけ」が難しくなっている。学校での指導の方針は。</p> <p>② 市内を訪れる観光客の誘致等、交流人口の拡大は「見知らぬ人」が増加することであるが、どう対応するのか。</p> <p>③ あいさつの重要性をどう考えるか。</p> <p>(3) 教育環境について</p> <p>政府は学校 I C T化に向け、全国の小学5年から中学3年までの全生徒にパソコンを配備する案を検討しているとの報道があった。</p> <p>① 市内小中学校の生徒数に対し、パソコン、タブレット端末、また、電子黒板の配備率は。</p> <p>② 11月17日のソーシャルチャレンジ発表会で、グーグルクラウドを活用した新しい教育環境創出の提案があり、子ども達の「学び」の充実は元より教職員の働き方改革の向上にも好影響が期待できる。政府の方針も視野に導入を検討してはどうか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 災害が起きる前 の整備を	<p>③高校魅力化の観点における松江シティFCユースの招致について ア) 三刀屋高校へのアンケートで「生徒指導上の面から否定的」とのことであるが、どのようなことなのか。また、大東高校では問題ないのか。 イ) 中学生と保護者のアンケートは実施されたが、高校生と保護者、更には小学生やその保護者の意見も聴取したのか。 ウ) 県立高校の魅力化の一端であり、高校の活動拠点整備ともいえるが県の補助は。 エ) 大東陸上競技場を整備する計画であるが、ランニングコストはどのようなのか(負担割合)</p> <p>④人口減に伴い中高校生の生徒数も激減する中、部活動の維持は困難を極めている。特に団体競技は存続の危機ともいえる。一方で多様化・多種目化が進むスポーツの全体像は相反する傾向である。市としてどのような方針で進めるのか。</p> <p>(1) 国は昨今の甚大な豪雨災害に対応するため、河川センサーや下流域の流量の確保策や市街地における地下等の浸水に対する改善を図るとした。 ①当事業では市街地の浸水対策も盛り込まれるようであるが、市内連坦地の内水排除ポンプも該当するのか。 ②市内の大きな河川の最下流域となる加茂町、三刀屋町、木次町それぞれの人口集積地における浸水想定区域の人口と世帯数は。 ③それぞれの河川の人口集積地に隣接する堤防の右岸左岸の高さは。 ④治水対策は基本的に平等であるが、先般の千曲川のように都市部</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				と地方の被害の差が出ている現状もある。整備から50年が経過した堤防や急傾斜地が点在する実態に対し、「整備済み」との見解で終わらせてはならない。強く県や国に働きかけ、安心安全の担保に努めるべきではないか。	